さい。

# Iranslated Children's Books Forum

第5回 JBBY

# 昔話を訳す楽しみ 子どもの本の翻訳フォーラム

2023年

**月2** □ (日) 午後2時~4時半 ■オンライン

木村有子(チェコ語翻訳家)、さくまゆみこ(英語翻訳家)

【パネリスト】 愛甲恵子(ペルシャ語翻訳家)、かみやにじ(韓国語翻訳家)

柴なほ(ハンガリー文学研究者)、長野徹(イタリア語翻訳家

【対象】 大人(高校生以上可) 【定員】 120人(申込順・裏面参照

話の翻訳についてのお話をうかがい、さらに地域ごとの特色 す。今回の翻訳フォーラムでは、様々な言語の翻訳家から昔 は、現代の作品を翻訳するのとは異なる喜びと苦労がありま 長い時間をかけて民族に伝承されてきた昔話。昔話の翻訳に うぞ昔話作品を子どもに手わたすときの参考になさってくだ たちは多様な価値観を知り視野を広げることができます。ど 各地域の伝統と文化が凝縮された昔話を読むことで、子ども もふくめた昔話の魅力について語りあっていただきます。





『ごきぶりねえさんどこいくの?』 (アーザード再話/ブルース・インターアクションズ)

### 愛甲恵子(あいこう・けいこ)

(ペルシャ語翻訳家)

東京外国語大学大学院修士課程修了後、10ヶ月のイラン留学を経て、2004年より美術家フジタユメカとともにサラーム・サラームというユニット名で、イランの絵本やイラストレーターを紹介する展覧会などを開催している。訳書に、ムーサヴィー『ボクサー』(トップスタジオHR)、アフマディー『ぼくは話があるんだ、きみたち、子どもたちだけが信じる話が』、キアロスタミ『いろたち』(ともにカノア)など。再話に『ノホディとかいぶつ』(福音館書店)など。JBBY 会員。



『あずきがゆばあさんととら』 (ベク・ヒナ作/偕成社)

### かみやにじ(神谷舟路)

(韓国語翻訳家)

1980 年代初に韓国の延世大学に留学。韓国の文化、歴史を紹介する仕事に携わるなかで、韓国の絵本・読み物の翻訳を手掛けるようになる。世界の人びとと、きちんと出会い、深くつながっていくには、まずアジアのもっとも近い隣人である韓国・朝鮮のことを知って欲しいと思っている。訳書に、イ・グミ『そこに私が行ってもいいですか』、バク・ゴヌン『ウジョとソナ』(ともに里山社)、キム・ナムジュン『ホン・ギルトン』、イ・ウォンス/ソン・ドンイン『朝鮮の民話』(ともに小学館世界J文学館)など。JBBY 会員。

## 大の鳥と きつねの リシカ

『火の鳥ときつねのリシカ チェ コの昔話』(岩波書店)

### 木村有子(きむら・ゆうこ)

(チェコ語翻訳家)

1970年よりプラハの小学校に通う。1984年よりプラハカレル大学に留学。新聞社勤務の後ドイツの大学でスラヴ語を学ぶ。訳書に、ミレルもぐらくんの絵本」シリーズ、ドボジャーク『どうぶつたちがねむるとき』(ともに偕成社)、ロジノフスカー『クリスマスのあかり』(福音館書店)、エルベン『金色の髪のお姫さま チェコの昔話集』、チャベック『こいぬとこねこのおかしな話』(ともに岩波書店)、チャベック『長い長い黒猫の話』、ラダ『かしこいきつねの物語』(ともに小学館)など。エッセイや講演を通じチェコの文化を広く紹介している。JBBY 理事。



『1400 個のコヤスガイ 西アフリカ・ヨルバ人の昔話』(フジャ編/小学館世界J文学館)

### さくまゆみこ

(英語翻訳家)

JBBY 会長。アフリカ子どもの本プロジェクト代表。子どもの本に関わる様々な仕事を経て現在は翻訳者。著書に『エンザロ村のかまど』(福音館書店)、『どうしてアフリカ? どうして図書館?』(あかね書房)など。翻訳は、ホワイト『シャーロットのおくりもの』(あすなろ書房)、ハミルトン『女たちの物語』(小学館)、ルイス『パップという名の犬』(評論社)など約250点。今回は主にアフリカの昔話についてお話しします。

http://baobab.main.jp



「ウラリカ」No.17 (抜粋)

### 柴なほ(しば・なほ)

(ハンガリー文学研究者)

10代より合唱団でハンガリー民謡に親しむ。'93年演奏旅行でハンガリーを訪れ、広大な農地に興味を持ち、大学でハンガリー農業を研究。'99、'00年 Debrecen Summer School ヘハンガリー語短期留学。現在は農村文化、口承文学に対象を広げ、ハンガリーの宗教的な昔話について研究。共訳書に劇作家の詩集、ヴィシュキ『ヴィシュキ・アンドラーシュ対訳小詩選』(ハンガリー文芸クラブ)。東京農工大学大学院修士課程修了。東京外国語大学オープンアカデミー講師、日本ウラル学会理事、図書館司書。JBBY会員。



『愉しき夜 ヨーロッパ最古の昔 話集』(ストラパローラ著/平 凡社)

### 長野徹(ながの・とおる)

(イタリア文学研究者、翻訳家)

現在、大学で教鞭をとる傍ら、児童文学やイタリア文学の翻訳に従事。児童書の訳書に、ビウミーニ『光草ーストラリスコー』(小学館)、ビッツォルノ『ポリッセーナの冒険』(徳間書店)、ソリナス・ドンギ『ジュリエッタ荘の幽霊』(小峰書店)、グエッラ『紙の心』(岩波書店)、イタリア文学の訳書に、ブッツァーティ『魔法にかかった男』『動物奇譚集』(東宣出版)などがある。ピウミーニ『ケンタウロスのポロス』(岩波書店)が2022年IBBYのオナーリストに選ばれる。

コーディネーター

### 堀内まゆみ (ほりうち・まゆみ)

(元岩波書店編集者)

国立国会図書館を経て、岩波書店に入社。新日本古典文学大系、児童書、ジュニア新書の各編集部で書籍を編集。その後、広辞苑大学、夏目漱石記念年(生誕150年・没後100年)など、さまざまな本のプロモーションに関わる。岩波書店のwebメディア「web岩波たねをまく」の設立メンバーとして編集長を4年間つとめた。趣味は、ドイツ語と広東語に触れること、学ぶこと。JBBY会員。

### お 申 し 込 み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。 クレジットカード決済と振り込みをお選びいただけます。 https://jbbyonline033.peatix.com

\*当日は、Peatix にログインして視聴ページよりご覧ください。



■お願い■ この活動では、子どもゆめ基金への報告のために、モニター上で参加者の写真を撮影させていただきます。子どもゆめ基金に提出した個人情報(写真)は、「(独) 国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

# JBBY

▶主催・問合せ先

### 日本国際児童図書評議会(JBBY)

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F Tel: 03-6273-7703 Email: info@jbby.org

### JBB**Y**೬ಚ—

日本国際児童図書評議会の略称。IBBY の日本支部として 1974 年に創設されました。会員(現在、個人約500人、法人約70社)の支援と協力に支えられ、「子ども・本・平和」をキーワードに、子どもの本に関する国際協力機関として国内外で活動を続けています。「国際アンデルセン賞」をはじめとする子どもの本の国際的な賞に日本の作品や作家を推薦したり、英文のブックリストを発行したリーブ・日本の子どもの本に関する情報を海外へ発信しています。国

回、講座や講演会の開催、ブックリストの発行などを通じて世界の **優れた児童書を日本の出版関係者や読者に紹介しています。** 







